

* 堺教会 CS 新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

いずみのひろば

2017年4月号
日本基督教団堺教会
No.461 教会学校

最後の審判

マタイによる福音書25章31〜40節



この聖書の場面はイエス様がオリブ山でお弟子さんたちの前で語られた天の国についての説教の一部です。

イエス様は一度天に昇られた後に再び天使たちを全員お連れになって、地上へ帰ってこられるというのです。いったい何をなさるためでしょうか？それはすべての国の人たちを集め、羊飼いが羊と山羊を右と左に分けるように、天の国に行ける人たちとそうでない人たちとを分けるためなのです。

イエス様は天の国へ行ける人たちにこう言われます。「私の兄弟である最も小さい人にしてくれたことは、私にしてくれたことと同じことである。」

天の国に招かれる人とそうでない人が分けられると聞くとみんなは、自分で行けるのかな？と不安になりませんか？

しかし、心配はいらないのです。神様はすべての人を天の国に招き入りたいとお考えになっています。その証拠に神様はイエス様をこの

地上へつかわして下さったのです。

天の国に招かれるために何か特別なことをしなくてはいけないということではないのです。

自分も周りの人たちも神様に愛されていることを覚えて生活を送ることが大切なのです。

(お話 辻野 智也)

